

## 幹本申5号「2025年3月ダイヤ改正について」に関する申し入れの交渉を行いました！ その9

### (第8項②の続き)

- 《組合》数年前のダイヤ改正議論でも仙台での段落ちは引き継ぎ等含め、結構な労力であるので解消して欲しいと申し入れた。解消された部分はあるが今回は盛岡行き最終やまびこが乗り継ぎで提案されたという事で、お客さま対応で苦慮するのではないかと現場では言われている。是非とも今後の検討材料にいただきたい。
- 《会社》解消出来るかはわからないが、提案された意見を参考にして行路を作成していきたいという考えはある。
- 《組合》盛岡行き最終やまびこは併合編成が基本とはできないのか？併合編成だった時期もあった。
- 《会社》現状、車両運用は非常に厳しい状況になっている。所定併合とするのであれば通年の乗車率等も考慮しなくてはならない。様々な検討を行っているが、今のところ併合を基本にするとはなっていない。

### 第9項 東京新幹線運輸区運転士のB213行路(417C~400C)は、休養時間が短いことから睡眠時間を確保すること。

- 《組合》越後湯沢に最終列車で到着して翌日初列車を担当する行路は今まで無かったので、現場では驚きの声が出ている。越後湯沢着後に車内清掃もあり、翌日は東京に戻れば終わりなので大丈夫とはならない。休養時間が短くなりすぎているのではないかと問題意識がある。
- 《会社》越後湯沢での睡眠時間が短いという事だが、この問題を解決するには417C越後湯沢着を繰り上げるか、400Cの越後湯沢発車を繰り下げるしか休養を確保できない。この行路については乗務時間、距離が他の行路より少ない、翌日は東京着で勤務終了といった点も考慮して最終から始発で折り返すという設定を行った。睡眠時間が他の行路より少ない認識はある。
- 《組合》制度上は問題ないのかもしれないが、「休養時間が短くてもよい」というのが当たり前になっては困るという問題意識がある。今回の提案の根本の部分である。
- 《会社》何も意見がなければ「当たり前」となってしまう。行路に対し意見があれば様々な場で聞かせていただきたい。意見をいただければ解消できるかは確約できないが、その点も加味して行路を作成していく。
- 《組合》今後も我々の意見を参考にさせていただいてより良い働きやすい行路を作っていただきたい。
- 《会社》行路は全体を見る必要はあるが、引き続き課題をクリアできるようにしていきたい。

**「安全・健康・ゆとり」はセットで実現されるべきと訴える！  
課題解決、要求実現に向け継続して検証活動を行おう！**